



東京都建設局

東京

橋と土木展

入場
無料

2019.8.28(水) - 8.31(土)

新宿駅西口広場イベントコーナー

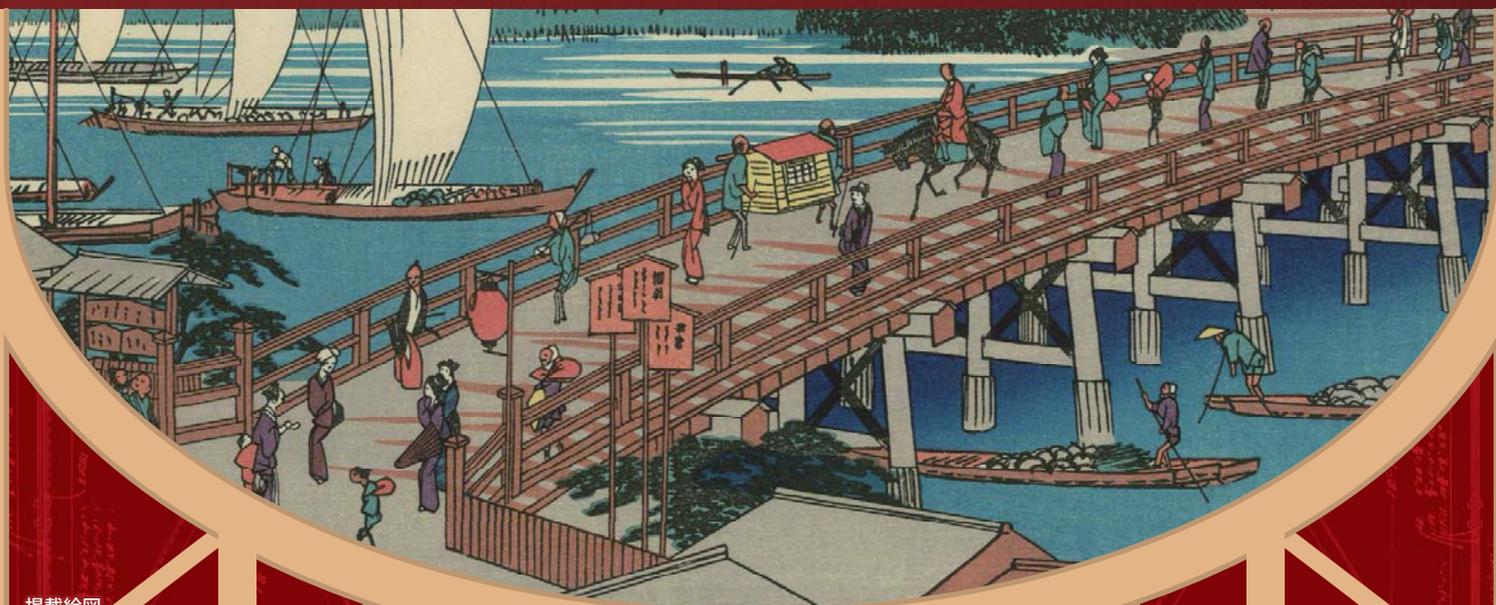
開催時間 8:00 - 21:00

※初日は13:00から、最終日は17:00まで

主催：東京都建設局 お問い合わせ：東京都建設局道路管理部保全課 Tel.03-5320-5295



案内図ほか告知



掲載絵図

(上) 浅草橋：『東京名所之内 浅草橋真景』

(下) 吾妻橋：『東都名所之内 隅田川八景 吾妻橋帰帆』

東京 橋と土木展

「東京の橋パネル展」から通算9回目となる今回は、これまでの総決算とも言うべく、過去最多点数の展示で皆さまをお迎えます。過去の開催テーマの「明治・大正期」「震災復興期」「昭和(戦前)期」の橋に、新たに多摩地域で架けられた橋(江戸～明治・大正期の木造橋など)を加えて200点以上のパネルを展示します。

「勝鬨橋」「清洲橋」「永代橋」「蔵前橋」の模型、明治期の「旧新大橋」・「旧両国橋」の橋名板、関東大震災からの復興計画を示す「東京市五千分の一模型」を一挙に集めて展示します。その他、江戸・明治期の橋を描いた浮世絵30点などを展示します。

これら展示を通じて、東京に架かる橋と土木の魅力を体感して頂ければ幸いです。



勝鬨橋跳開模型※1



清洲橋模型※2



橋名板(手前)旧両国橋※5 (奥)旧新大橋※4



永代橋模型※3



蔵前橋模型※3



東京市五千分の一模型※5

※1東京都建設局蔵、※2金沢大学蔵、※3東京大学蔵、※4中央区郷土天文館蔵、※5復興記念館蔵

山手線29駅構内模型

初公開



[制作]昭和女子大学田村研究室

1872年、日本で最初の鉄道が開通しました。それは、同時に山手線の始まりでもあり、147年かけてできた2019年現在の山手線29駅のかたちがあります。過去2回の出展では新宿駅模型(1/100)のみの展示でしたが、今回は山手線全駅の構内模型(1/500)にチャレンジしました。山手線全駅について、各駅を一駅一駅模型で巡っていただくと併せて、全体であたかもそれが東京の一つの巨大駅であるかのように鑑賞いただければ幸いです。

ミニ講演



会場内でミニ講演(一般向け講演会)を開催します。スケジュールは以下を予定しています。無料。事前申込不要。

■8/28(水)19:00～20:00

山手線29駅構内模型から見てくるもの
田村 圭介(昭和女子大学)

■8/29(木)19:00～20:00

高架橋の裏側を愛でる
大山 顕(フォトグラファー/ライター)

■8/30(金)19:00～20:00

400年の歴史に橋をかける
—長崎・出島表門橋 設計からはしふきまで—
渡邊 竜一(株)ネイ&パートナーズジャパン/法政大学専任講師

■8/31(土)

14:00～15:00 橋の楽しみ方
八馬 智(千葉工業大学)

15:00～16:00 歴史・風土が見える「橋」
紅林 章央(東京都建設局)

16:00～17:00 鉄道目線で橋を見てみよう!
小野田 滋(鉄道総合技術研究所)